

元中だより



元吉原中学校HP

富士市立元吉原中学校
学校だより 第9号
令和7年1月28日

☆爽やかなスタート 新年のごあいさつ ～ PTAあいさつ運動 ～☆

冬季休業が明けた1月6日(月)は、爽やかなスタートを切ることができました。PTA役員と登校する生徒の間で、明るいあいさつが交わされたからです。2025年の元吉原中学校も、生徒の頑張りと保護者や地域の方々の支えがあって、心温かな活動から動き始めました。今後も、生徒や保護者、地域の方々と協力しながら質の高い教育活動を目指します。本年も昨年同様のご理解とご協力をお願いいたします。

☆地域かるたを通して交流が広がりました ～ 地域とつながる会 ～☆



1月17日(金)に「地域とつながる会」を行いました。元吉原地区管理組合員や消防団員など12名の地域の方々と、16名の鈴川幼稚園児たちと先生が、元中生徒と「元吉原地区郷土かるた」を楽しみました。

令和5年度に元吉原小生が文字札を考え、元吉原中生が絵札を描き、元吉原地区まちづくり協議会が作成した「かるた」取りを令和6年度後期生徒会が企画しました。幅広い世代が作成に携わったかるたを、さらに多様な世代で楽しみました。また、園児をグループまで手を引く3年生や消防団や管理組合の方と言葉を交わす元中生徒たちの姿や見られ、さらに時折歓声や拍手があがるなど、ほのぼのとした温かな雰囲気のかいになりました。

「地域とつながる会」に参加した 1年2組 吉田さん

普段はあまり関わることができない先輩や幼稚園児と仲を深めることができたうえに、今回はかるたの絵札をたくさん取ることができました。さらに、元吉原地区の歴史や特別な場所を改めてかるたで知ることができたので、得るものが多かったです。

「地域とつながる会」に参加した 3年2組 片又さん

お年寄りから幼稚園の子どもまで、幅広い方々と交流できる貴重な体験になりました。私は幼稚園の子と他学年の仲間とかるた取りを楽しむことができただけでなく、会場にお越しいただいた地域の皆様に喜んでいただけたことがうれしかったです。これからも地域の方々との交流の場を大切にしていきたいです。

かるた取りを通じて、自分たちの住む元吉原地区の歴史や特色を知るだけでなく、普段触れ合う機会の少ない、幅広い世代の方々との交流ができた貴重な機会となりました。

☆おいしい給食をありがとうございます ～ 給食に感謝する会 ～☆

1月21日(火)の生徒昇降口すぐそばのホワイトボードには「1889年(明治22年)に山形県で学校給食が始まり……」「好きな献立は……」など、教務主任と各学年主任が給食に関するメッセージを書いていました。給食の楽しい思い出は大人になっても強く残っている方が多いと聞きます。この日の放課後に全校放送を通して、感謝のメッセージカードを渡したり調理員さんからの話を聞いたりしました。3人の調理員さんが愛情込めて、アレルギーや栄養価に配慮しながら調理していることを改めて知ることができました。

給食をふりかえって 給食委員長 2年2組 加藤さん

おいしいだけでなく、見た目もきれいに安全・安心に食べることができるのは、調理員さんのおかげです。丁寧に調理・味付けもして、給食への情熱をもって3人が協力しているからだと改めて感じました。準備も片付けも毎日やってくれています。毎日おいしく満足できるのも当たり前ではないと感謝しています。いつもありがとうございます。

大人になるために体が成長と変化をしていく中学生の時期だからこそ、好き嫌いを克服しながら栄養満点の給食を摂って、丈夫な体と心を育てていきたいですね。生徒たちの将来の健康のためにも、安全・安心に給食を楽しめるよう取り組んでいきます。